

web サイト・ブログに共通するマナーやルール

1. インターネットのマナーについて

● 読む人やコミュニケーションをとる相手のことを考えましょう

インターネットでは、相手が見えないため、相手が誰であっても同じ言葉（表現）を使いがちです。ブログや掲示板、プロフィールなどに書き込むときに、友だちと話すようにそのとき思いついたことをストレートに書いてしまうと、表現がきつかったり、冗談が通じなかったりして、相手に嫌な思いをさせたり、エスカレートしてトラブルになったりすることがあります。また、同じ言葉（表現）でも人によって受け取り方は違います。

インターネットを利用するときは、相手のことがわからない分だけ、コミュニケーションをとる相手や読む人のことを考えましょう。

2. インターネットで守らないといけないルールについて

● ほかの人のプライバシーに気をつけましょう

家族や友だちや同僚などのことを掲示板やブログなどに書き込んだり、写真などを載せるときは、その人に了解を得るなど、プライバシーに配慮しましょう。

● 法律について

実社会で法律を守らないといけないように、インターネットの世界でも法律を守らなければいけません。ただ掲示板やブログ、SNS などへの書き込みや動画サイトなどへの投稿などが簡単にできてしまうこともあり、罪の意識が低くなりがちです。次のような行為は、民事・刑事上の責任を負う場合があります。「知らなかった」では済まされません。

- 他人を中傷する書き込み（名誉棄損）、他人のプライバシーを侵害する書き込み
- 著作権、商標権、パブリシティ権、肖像権の侵害する行為
- 詐欺
- 違法な薬物を販売する行為
- 出会い系サイトで児童に売春を持ちかける行為
- 他人に成りすます行為（他人の ID とパスワードを使ってサイトにアクセスするなど）
- サイトを攻撃する行為

3. 掲示板、ブログ、プロフィールなどの SNS サービスを利用するときに気をつけること

● 書き込むときに気をつけること

◆個人が特定できないように書き込みます

自分の住んでいる地域や家族、学校、友だちなど自分の生活にかかわることを書いたり、写真を掲載したりするときは、個人が特定できないようにします。また、自分や他人の名前や住所、電話番号などは書いてはいけません。

◆家族や友だちについて書き込んだり写真を掲載するときは当事者の承諾をとります

プライバシーにかかわることの掲載を望まない人もいるかもしれません。黙って掲載してしまうと、それらの人との関係が悪くなるかもしれません。

◆アクセス制限しているページの URL を誰でも見られるブログや掲示板などに書いてはいけません

他人に公開したくないページや友だちだけに公開したいページを作成している場合、その URL をブログや掲示板などに書いてはいけません。

URL に複雑な長い文字列を付加してアクセス制限をしているサービスの場合、その URL を知られてしまうとそのページを多くの人に閲覧されてしまう可能性があります。

◆相手の意見が自分と違ってても……

他人と自分の考え方が違うのは普通のことです。意見が違うからといって相手を非難するようなことはやめましょう。エスカレートして口論になったり、ブログが炎上するなどトラブルになるかもしれません。議論するなら前向きに。

◆この書き込みを読む人は誰？

書き込むときは、次のことを意識しましょう。人に聞いたり、検索したりして、意外に身近な人が見たりするかもしれません。友だちを相手に書いていたつもりが、親に読まれていたり、先生に読まれていたりするかもしれません。

- コミュニケーションの相手は誰ですか？
- その書き込みを読む人は誰ですか？
- 書き込みを読める人は誰ですか？

● 書き込んではいけないこと

次のような書き込みをすると、トラブルになったり、訴えられたりして刑罰の対象となることがあります。ネットには匿名性があると説明しましたが、違法な書き込みや投稿をした場合、プロバイダの記録などから個人が特定されます。

◆プライバシーの侵害にあたること

他人の名前、住所、電話番号や私生活にかかわることについて承諾のない書き込み

◆名誉棄損にあたること

他人を中傷する書き込み

◆著作権の侵害

音楽 CD のコピー、歌詞や小説の転載、イラストなど他人の著作物のコピーなどの書き込み、テレビなどの動画の投稿

◆パブリシティ権、肖像権の侵害

芸能人などの写真の掲載

◆違法行為を助長する書き込み

違法な薬物を販売するための書き込み
児童に売春を持ちかける書き込み

- **閲覧するときに気をつけること**

- ◆ **風評被害にあわないために**

インターネットにはいろいろな情報が発信されています。そのなかには真実ではない情報もあります。うわさや憶測、評判などの風評に惑わされないように、冷静に行動しましょう。

Yahoo!セキュリティセンターセキュリティガイドから抜粋